

法華寺だより



恒例の

お花見

今年は
五月十四日

ツツジが

きれいでした

庭の清掃も
しつかり
しました

いざ挑戦 日蓮検定

【三級 その④】

伊豆法難の伝承地で日蓮が船頭に置き去りにされたといわれる場所は何処ですか？

- 1…旭が森
- 2…松原大路
- 3…俎(まないた)岩
- 4…由比ヶ浜

三大尊神大祭

十八日午後一時から、檀信徒各位と皆様の諸願成就を祈念致します

鬼子母神

(仏教の守護神、安産、子育てを初めとする人々の健康安全を守護する)

水子地藏尊

(心身共に健やかな子や孫の育成を祈る)

七面大明神

(法華経の守護神、様々の災害から守って下さいます)

ご案内

六月

- 十三日 環境整備
- 十八日 三大尊神大祭
- 二十四日 宗祖御降誕八百年慶讃
東部管区大会

七月

- 十三日 パークゴルフ大会
- 十三日 行学院日朝上人会

- 1…旭が森 … 立教開宗の地
- 2…松原大路 … 鎌倉のこの地
地辺りで辻説法に務めた
- 3…俎(まないた)岩 伊豆の伊東に流されたが、途中の小岩(俎岩)に置き去りにされた
- 4…由比ヶ浜 … 伊豆法難の際、鎌倉のこの浜より船出



心といのちの相談所
老若男女幾つになっても悩
みや心配事の絶えないもの
……ご来所やお電話を……
Tel 一三三四〇三三

今月の聖語

みなもと つく
源 竭れば
なが つ
流れ尽きる

【正しき流れ】 邪悪な教えは正しい教えが現れた時消える運命です。これを古来「源竭れば流れ尽きる」と表現してきました。

どのような災害、苦難の中でも正しさを身につけていけば、流れは尽きることは無いのです。

「実相寺御書」より

日蓮聖人御遺文



覚書

五月

- 六日 開山上人会法要
八日 帯広仏蓮
十四日 環境整備、花見
十九日 管内教育研(釧路)
二十日 広教寺釈尊涅槃会
二十一日 檀信協総会(温根湯)
二十四日 宗務院(教育研究)
三十一日 帯刑教誨



一休み

●「日蓮宗信行読本」より(拾い読み)
●第五章 日蓮宗の勤行

(5) 仏壇のお供え
・お供えするという気持ち

「精進料理」は修行中のお坊さんの食事です。仏様には「生身料理」(読み方は同じ)と言って、生きている私たちと同じものです。生きています私たちは「食味」、仏様や亡くなった人は「法味」で食べるそうです。先ず仏様やご先祖様などへお供えを、そのお下がりを頂くといい心掛けを大切にしたいものです。

「奉仕」感謝

☆布薩会と婦人会様 寺庭の草取り等環境整備、法会の諸準備等々、その他檀家の皆様

法華和讃

(五十八)

一生の晴着の経の帷子は

未来の恥をかくす法衣ぞ

南無妙法蓮華経

(1) 2 おつとめの心構え (一)
清浄

・仏壇を浄めることは我が身を浄めること
古い歌に「掃けば散り、はらえばまた塵積もる、人の心も庭の落ち葉も」。庭の落ち葉は掃いても掃いても無くなりません。私どもの心の垢も同じです。しかし、努力して精進を重ねれば垢も積み上がりならず、やがて成果が現れるでしょう。
仏壇を浄めることは、自分が一日一日迎える旅に一日一日新しく少しでも成長してゆく事に繋がるのです。

編集後記

◆いよいよ初夏です◆十勝の農業は畑作と酪農が中心◆雪解けから初夏までの気候が大切◆今年もそれなりの作かな◆二十四日は釧路で東部管区の日蓮聖人降誕八百年慶讃大会が開かれます◆道東各地の寺院よりバスなどで多数の檀信徒が参集することです◆何らかの都合で参加できない人の祈りも含めて大会が成功裏に終わりますように◆

◆山崎記◆

ミニ私見

経の帷子は

死出の旅に着る経帷子の背中には、お題目が書かれています。生前の様々な悩み苦しみが消える(罪禍の消除)だけでなく、霊山浄土で仏様と暮らし修行するうえで大切な晴れ着となります。



参照・引用

- ※日蓮聖人聖語カレンダー
※「日蓮検定」
※「日蓮宗信行読本」
※「日蓮と日蓮宗」
※「仏教語散歩」等々